



平成28年7月19日

総務文教常任委員会現地行政視察報告書

土佐清水市議会議長 永野裕夫 様

総務文教常任委員会委員 西原強志



- 現地行政視察日時 平成28年6月9日 AM10:00～PM1:00
- 視察場所 四万十市不破上町1949番地1 「スクールミール中村南」
- 出席委員等 仲田 強、岡本 詠、浅尾公厚、細川博史、西原強志、永野裕夫
議長
事務局 山下 毅局長他3名、

○議 題

学校給食センターについて

1. 実施に至るまでの四万十市の経過及び実施状況について

四万十市においては、平成28年4月に市内4箇所目となる学校給食センター「スクールミールぐどう」を建設し、市内小学校14校及び中学校11校、対象児童数2,830人の全ての学校給食センターの機能が整備されたとのこと。

1. 調理方式は、ドライシステム
2. 調理能力は、3,300食/日
3. 給食方式は、共同調理方式を採用
4. 配送方法は、各学校へ直接搬入
5. 運営費は、約2億円その内約1億円が市の負担とする額とのこと。
6. その他共通事項
 - (1) 業務運営
献立作成、栄養、食材納入業者の選定、給食費収納管理、施設管理他
 - (2) 米飯給食(週5日)
 - (3) 食材購入方針
無減農薬野菜「お米、野菜」の優先使用、市内産の優先使用、市内業者の優先選定、
 - (4) アレルギーの対応
除去食、代替食の対応。アナフィラキシーが発症する恐れのある重度なアレルギーを有する児童については、毎月保護者と献立の確認を行っている。
 - (5) 食器——強化磁器
 - (6) 給食費——小学校4500円/月(1食あたり260円)
中学校5000円/月(1食あたり290円)

2. 四万十市立学校給食センターの主な取り組みについて

1) 適正な給食運営を行うために次の事項を実施している。

- ・行政、学校、保護者で構成する「学校給食センター運営委員会」を定期的に開催している。
- ・施設衛生点検（年3回）細菌検査（随時）、防虫及び防そ措置（年2回）等の実施
- ・食育連絡協議会、衛生研究会、調理講習会等への参加
- ・アレルギー調査の実施（毎年）

2) 食教育の推進

- ・「献立表及び給食だよりの発行（毎月）
- ・農業体験交流事業の実施（随時）
- ・アンケートの実施（随時）
- ・給食センター見学の受け入れ（随時）
- ・給食参観、試食会の実施(随時)

3) 地産地消の推進

市内生産者等で組織する「環境にやさしい農業のための研究会地産地消推進部会」との契約のもと、安全安心な無・減農薬野菜及び米を優先購入し、不足する野菜類については、高知はた農業協同組合もしくは登録業者から市内産のものを優先的に購入し、その他の食材についても、可能な限り市内製造品の選定や市内業者から購入を行う。

4) その他の事項としての取り組み

- ・生ゴミ（野菜くず、残さい等）の堆肥化を図る。

3. 実施に向けての特記事項について

給食費については、小学校は1食あたり260円、中学校は、1食あたり290円としているが、基準に基づく必要額については、年度末で調整を行っている。

アレルギーを有する児童については、毎月保護者と献立の確認を行い、別メニューで対応している。

年間を通して米飯を主食とし、カロリー等の摂取量等を考えて小学校児童の下級生及び上級生等との摂取量の調整を図っているとのこと。

学校給食を食育の推進のために生きた教材として活用するなど、栄養バランスのとれた魅力ある美味しい給食を図る為、学校給食の献立の充実を図っている。

本市は、学校給食センターを平成28年度及び29年度において施設整備を進め、平成30年4月に事業実施に向けて取り組んでいるところです。

今回の四万十市の給食センターの行政視察は大変参考となったところです。

施設運営にあたっては、一般財源が多額に必要と考えますので、長期的観点から民間委託等も含めて十分に検討すべきと思います。